

馬頭最終処分場についての 小川地区説明会を開催しました。

県では、那珂川町との共催により、1月31日に小川地区の約80名の住民の皆様に参加いただき、馬頭最終処分場基本計画の概要や現在の進捗状況等の説明会を開催しました。



馬頭最終処分場に関するホームページについて

県では、馬頭最終処分場に関するホームページを開設しています。
下記のホームページアドレスで、ご覧いただけます。

(栃木県ホームページ)

<http://www.pref.tochigi.jp/>

【→暮らし・環境→環境：リサイクル・廃棄物→廃棄物：馬頭最終処分場（環境整備課）】

(平成18年3月発行)

お問い合わせ先

- 栃木県 生活環境部 環境局 環境整備課 TEL.028-623-3227
- 那珂川町 環境整備対策室 TEL.0287-92-1110

発行

- 栃木県 生活環境部 環境局 環境整備課 〒320-8501 宇都宮市塙田1-1-20 TEL.028-623-3227
- 財団法人 栃木県環境保全公社 〒320-0043 宇都宮市桜2-2-28 TEL.028-622-7654



馬頭最終処分場の事業区域の あらましをお知らせします。



今後、本事業区域を基本に用地の確保を進めていくとともに、施設や設備（ハード面）はもちろんのこと、管理運営（ソフト面）の幾重にもわたる安全対策を講じながら、最終処分場の整備を進めていきたいと考えています。

馬頭最終処分場の事業区域

馬頭最終処分場は、全国のモデルとなる「多重安全システムを備えた安全で安心できる処分場」を目指しています。

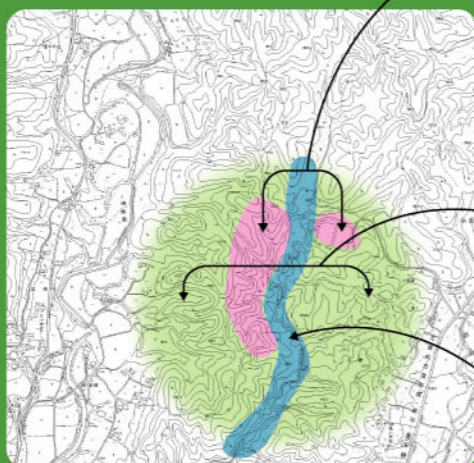
このため、基本計画では、「信頼性の高い施設」や「信頼性の高い管理運営」などに加えて、「地域との情報の共有」「自然との調和を基調とした施設」という4つの基本的な考え方にに基づき、最終処分場の整備を進めることとしています。

また、馬頭最終処分場は、周辺区域からの景観等に配慮するとともに、安全面、自然環境面への影響を考慮した施設配置を実現するため、施設ゾーン、里山保全ゾーン、水辺空間ゾーンの3つのゾーンから構成されています。

馬頭最終処分場 4つの コンセプト

- ▶ 信頼性の高い施設
- ▶ 信頼性の高い管理運営
- ▶ 地域との情報の共有
- ▶ 自然との調和を基調とした施設

「基本計画」における ゾーニング計画図



ゾーン 1 施設ゾーン

最終処分場そのものの機能を有するゾーン
埋立地、浸出水処理施設、管理施設、防災調整池、覆土置場、不法投棄物前処理施設 等

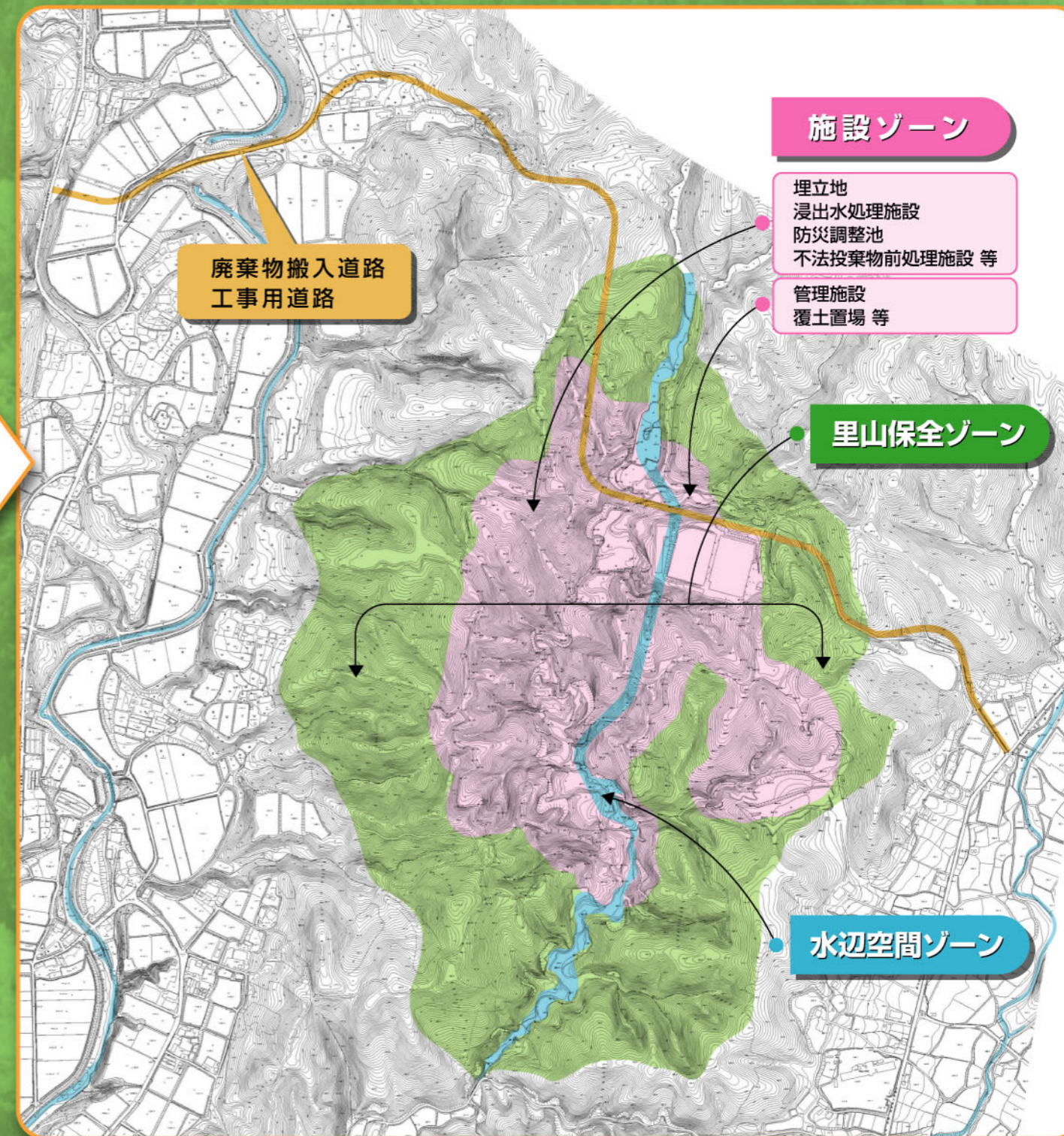
ゾーン 2 里山保全ゾーン

緩衝緑地帯を含めた「里山ゾーン」として保全するゾーン

ゾーン 3 水辺空間ゾーン

備中沢沿いにおける沢の保全と親水を目的とするゾーン

馬頭最終処分場の 事業区域図



県では、これまで、地元の皆様をはじめ、関係者の皆様のご理解・ご協力をいただきながら、基本計画を策定し、その後、計画地及びその周辺の地形等の調査を進めてきました。

処分場区域については、「施設」、「里山保全」、「水辺空間」の各ゾーンが、それぞれの機能を十分に発揮し、その相乗効果によって、より安全で安心できる処分場を実現できるよう、尾根筋・沢筋などの地形をもとに必要な区域を検討しました。

また、搬入道路（工事用道路）については、小口地区の一般県道小砂・小口線と和見地区の主要地方道那須・黒羽・茂木線を結ぶ道路として、できるだけ現在の道路を活用することを基本として、安全性や利便性に最大限配慮しながらルートを検討しました。

その結果、右側の図のとおり、馬頭最終処分場の事業区域がまとまり、2月21日、23日、24日の3日間、小砂、和見、小口地区において、「馬頭最終処分場に係る事業説明会」を開催し、それぞれの地区の住民の皆様にご説明しました。

今後、この事業区域をもとに、用地の取得に向けて、測量や物件調査等を進めていきたいと考えています。

具体的な施設の配置などの整備内容については、現在進めている事業アセスメントや基本設計に基づき、皆様にお示ししていきたいと考えています。

県としては、引き続き、那珂川町の皆様のご理解・ご協力をいただきながら、できるだけ早期に馬頭最終処分場を整備し、北沢地区の不法投棄物を撤去できるよう、最大限努力していきます。

より環境に配慮した最終処分場を目指して

馬頭最終処分場 事業実施のための 環境影響評価

秋季

調査結果号

(9～11月)

栃木県では、最終処分場の設置が周辺環境にどのように影響を及ぼすかを予測・評価するため、昨年4月から環境影響評価を実施しています。

その予測・評価を行うためには、環境の状況を把握する必要がありますので、現在備中沢及びその周辺において環境調査を実施しています。

今回、環境調査のうち秋季調査結果がまとまりましたので、そのあらましをお知らせします。

環境現況調査の結果（秋季）

大気

窒素酸化物、浮遊粒子状物質を調査した結果、両項目とも環境基準値を下回っていました。

水質

平常時の河川流量を測定した結果、備中沢下流部で373m³/日、小口川下流部で17,300m³/日となりました。

騒音・振動

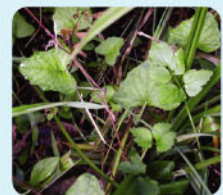
騒音レベルを調査した結果、昼間の平均騒音レベルは51dB、夜間は47dBとなりました。振動レベルを調査した結果、ほとんどの時間帯で30dB未満となりました。

植物

122科522種の陸上植物、水生植物が確認されました。このうち、レッドデータブック等に該当する貴重種（以下、貴重種）はミズマツバ、オオニガナなどの5科7種でした。



ミズマツバ



オオニガナ

動物

24目112科263種の動物が確認されました。このうち貴重種はオシドリ、トカゲ、ツマグロキチョウなどの10目16科23種でした。



ツマグロキチョウ

景観

搬入道路予定地と最終処分場予定地の現況を把握しました。

お問い合わせ先

- 栃木県 生活環境部 環境局 環境整備課 TEL 028-623-3227
- 那珂川町 環境整備対策室 TEL 0287-92-1110